

整備職の新規採用も必要だ

根気よく要求を続けることが大事

作業実態

私の担当する港区の作業実態は、収集作業（可燃・直営及び車付雇上、不燃・委託、資源及び資源プラスチック・委託、粗大・委託）、代行運転を含む高齢者や障がい者のための戸別訪問収集、ふれあい指導班、運転職、整備職があります。その中で私が現在配置されているのが、ふれあい指導班です。主に排出指導、集積所の新設及び廃止の手続き、届け物や粗大ごみの運び出しサービスです。特に港区は再開発地域があり、高齢者が多く住んでおり、それに伴う立ち退きなどによる引っ越しの増加を見据え、ここ数年で隔年ごとに新規採用を勝ち取れています。今年に限っては2年連続の採用となります。青年部活動への参加を促し、各支部の青年層との交流をしてもらいたいです。支部では特別執行委員という扱いにし、清掃労務交渉への参加にも声掛けをしています。将来的に青年層がいずれ私たちの役割を担う日がくるので勉強してもらっています。しかし、ここにもコロナの影響もあり、仕事後の食事や飲み会などコミュニケーションを取る機会が少なくなり、本音で話をしている回数が減っているのが現状です。一刻も早くコロナが終息することを願うばかりです。



▲独自ペイントの清掃車

いま No.44

清掃事業は…

港区



青年層の育成

港支部は今後の退職者を減らすことが重要で、ここにもコロナの影響もあり、仕事後の食事や飲み会などコミュニケーションを取る機会が少なくなり、本音で話をしている回数が増えているのが現状です。一刻も早くコロナが終息することを願うばかりです。

支部の目標

現在、港支部では収集作業及び運転職は定数化されています。（状況に応じて見直しもある）しかし整備職については定数化されていない現状です。CNG車両（リース）

神谷 拓宏

改憲発議と大軍拡やめろ

安倍元首相の国葬に

異を唱える多くの市民が結集



安倍元首相の国葬などについて大集会を開催。わが組合も退職者会とともに参加し国葬実施の撤回を訴えました。超大型台風接近により時折激しい雨が降る中、代々木公園には約1万3千人が結集し、集会后は「改憲反対の国葬反対」とシュプレヒコールを上げながら、横断幕とプラカードを手に渋谷と原宿駅方面の二手に分かれてデモ行進を貫き、改

さようなら戦争
さようなら原発
9.19大集会

憲問題対策法律家6団体連絡会の大任弁護士も登壇し「立憲主義を破壊する政治をしてきたのが安倍元首相だ。国の功績として評価することに強く反対したい」とし、国葬への異論を述べ、会場からは「その通りだ」と、多くの賛同を得ていました。

当面する課題に対して熱い議論

共生と連帯に基づく持続可能な社会の実現を

自治労 第96回 定期大会

自治労は8月30日(火)から31日(水)にかけて千葉県幕張メッセにて第96回定期大会を開催しました。コロナ禍のため、出席人数を例年の3分の1に制限しましたが、3年ぶりの対面開催となりました。わが組合からは江森委員長をはじめ3名の代議員・2名の傍聴員が激励に駆けつけ、全国の仲間皆さんの『力』と『声』を国会へ届けるため、自治労組織内議員の皆さまとともに奮闘していき「旨の挨拶がされました。経過報告や当面の運動方針に係っては、「コロナ禍における各職種の処遇改善、賃金定期の闘い、定



▲参加された組織内参議院議員の皆さん



▲3年ぶりの対面開催となった

でWEBにて臨みました。大会は川本中央執行委員長を皮切りに、芳野連合会長や立憲民主党代表など来賓の方々の挨拶のあと、7月の参議院議員選挙において組織内候補として当選された、鬼木まこと参議院議員が激励に駆けつけ、全国の仲間皆さんの『力』と『声』を国会へ届けるため、自治労組織内議員の皆さまとともに奮闘していき「旨の挨拶がされました。経過報告や当面の運動方針に係っては、「コロナ禍における各職種の処遇改善、賃金定期の闘い、定

▼9月に入り、ハロウィンのグッズや「秋」のビールを見かけるようになり、気分的には少し秋を感じる今日この頃。この原稿を書いている時点で今夏の東京地方の猛暑日は16日。さすがに9月になれば猛暑日が連日続くことはなさそうではあるが、残暑や台風を考えると気が重い。

▼仕事終わりにジョギングをするのが日課であるが、暑すぎて走るのをやめようかと思う日が何度もあった。この暑い日が続くこととビール量も増えがちで、350ml缶に二つ指の指が出てしまっているのが出てしまっている。走るから飲むのか？飲むから走るのか？どっちでもいいが自分にご褒美だらけの夏だったように思う(汗)

▼昨今の値上げラッシュの中、とうとうビールにも値上げの危機が迫っている。根本的な解決策は給料のアップしかない！先日、人事院は3年ぶりとなる月例給・一時金ともに引き上げの勧告を行った。著しく低下している特別区の賃金水準の現状を打破すべく、急速な物価上昇に見合った大幅な賃上げを勝ち取れるよう、秋の闘争に全力で取り組みたいと思う。

(豊島区担当中執 林 真一)